



議会だより

# おおえ

2012.11.15

No. 125

左沢8区のみなさんが女相撲甚句イッチャナ節を披露

平成24年度一般会計補正予算	2
条例規約改正・人事・請願	4
平成23年度決算認定	6
一般質問	8
第3回臨時会	11

議員研修会・各委員会視察研修	12
議長会行政視察	14
議会傍聴の感想・私も一言	15
広報常任委員会研修	16

# 補正後の総額は、

# 9月定例会

# 50億2,930万円

## 《主な歳入》

- ・ 地方交付税  
普通交付税（追加） 1千945万円
- ・ 民生費県負担金  
保険基盤安定負担金（追加） 394万円
- ・ 県の低所得者に対する負担軽減分です。
- ・ 民生費県補助金  
地域支え合い体制づくり事業費 151万円
- ・ 各地区が申請した物品への補助金で、それにより、町債の民生債が減となりました。
- ・ 衛生費県補助金  
浄化槽水環境保全推進事業費 178万円
- ・ 農林水産業費県補助金  
青年就農給付金事業（追加） 600万円
- ・ 特別会計繰入金  
介護保険特別会計繰入金（追加） 442万円
- ・ 繰越金  
決算の精査に伴う繰入金です。  
前年度繰越金（追加）

## 《主な歳出》

- ・ 雑入 2億601万円
- ・ 建物災害共済金 170万円
- ・ 落雷被害のあった柳川温泉の修理費用（火災保険）です。
- ◆ 総務費 ◆
  - \* 企画費  
子育て支援交付金追加 100万円
  - 美郷団地に新たに入居する家族の子育て支援金2世帯分です。
- ◆ 衛生費 ◆
  - \* 排水処理  
浄化槽水環境保全推進事業補助金 178万円
  - 月布川の水质を守るための月布川上流域を対象とした合併浄化槽を設置する場合の補助金です。
- ◆ 農林水産業費 ◆
  - \* 農業振興費  
青年就農給付金 600万円
  - 新たに農業を営む志を持つ45歳未満の青年の方への給付金です。
- ◆ 商工費 ◆
  - \* 観光費  
自動火災報知設備交換工事費 70万円
  - 落雷により破損した柳川温泉の

火災報知器の交換工事代で、火災保険より充当されました。



整備補助金で舗装される町内の認定外道路（御免町）

- ◆ 土木費 ◆
  - \* 土木総務費  
町道認定外道路補助金 260万円
  - 生活道路として長年使用しているが、町道認定されていない道路を持つ区への整備補助金です。
- \* 道路橋梁費  
維持補修工事費（追加） 300万円
- 大江、朝日両町の小清く大暮山間にある町境界の道が狭く、急カーブで危険なため、修繕拡幅工事を両町が負担し行うもので、改善されれば、県指定文化財「松保の大杉」の観光目的で大江、朝日両町の交流人口増加が期待されます。



# 平成24年度 一般会計予算に 2億3,500万円を追加補正

◆消防費◆  
＊消防設備費  
＊消防施設解体等工事費（追加）



雪害により解体撤去されることになった月布地区の警鐘塔

＊都市計画費  
公園整備工事費（追加） 140万円  
みなみ団地、美郷団地内にある公園の整備に使われます。



時計台が設置される美郷団地の公園



橋上地区の春日神社にある県指定の「イチヨウの木」

104万円  
月布地区の警鐘塔が雪害で破損したことによる塔の解体撤去費用です。  
◆教育費◆  
＊小学校費  
施設整備等工事費 170万円  
今年度で、本郷西小が休校になるため同校スキー場の地権者に土地を元に戻して返還するための工事費と、雪害により屋根が破損した同校の修理費用です。  
＊社会教育費  
文化財保護事業費補助金 123万円  
小新地区にある県指定文化財

＊体育施設費  
修繕料（追加） 121万円  
今年度も、小鳥山スキー場の圧雪車点検でキャタピラーの交換が必要となり、その費用90万円と、リフトのスピードコントローラー交換費用です。



小鳥山スキー場の圧雪車

「神代ガヤ」が今年も雪害に遭い倒木の危険があり、それを回避のためのワイヤー補強代と、橋上地区の春日神社境内にある県指定保存木の「イチヨウの木」が隣の杉の木と干渉して危ないため、それを剪定する費用です。

# 人事

## ●議第48号

大江町教育委員会委員の任命について

住所 大江町大字本郷丙334番地

の11

氏名 鈴木正洋氏

鈴木利晴委員が平成24年9月28日をもって任期が満了するのに伴い、後任者として任命するためのものです。

全員賛成で同意しました。

鈴木正洋氏は平成21年4月から本郷東小学校のPTA副会長を歴任、引き続き平成23年4月から1年間PTA会長を歴任されました。



## ●議第49号

大江町固定資産評価審査委員会委員の選任について

住所 大江町大字藤田451番地

氏名 村上弘子氏

峯田ミネ子委員の任期が平成24年9月28日をもって満了するのに伴い、後任者として選任するもので、全員賛成で同意しました。

村上弘子氏は町職員として固定資産の税務係長を歴任され、現在青芋夢見隊の代表として活躍されています。



# 条例・規約改正

## ●議第50号

平成24年度町道富沢連絡線外道路改良工事請負契約の締結について

工事場所 大江町富沢地内

請負金額 4千882万5千円

契約の相手方 高子建設株式会社

全員賛成で可決しました。



改良される富沢地内の道路

## ●議第51号

大江町税条例の一部を改正する条例の制定について

町道諏訪堂中山線の南側の287号線から富沢地区に入る道路の改良工事であり、工期は平成25年3月20日までです。

平成25年4月1日以降に売り渡し等が行われる製造たばこのたばこ税の税率を、1000本につき644円引き上げ、5千262円に改めるもので、県と市町村の税収を調整するためのものです。なお、旧3級品（わかば、エコー、しんせいなど）も305円引き上げ、2千495円に改めるものです。

たばこの値段は変わりません。

東日本大震災をうけ、復興に関し、地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律に基づき、臨時の措置として、平成26年度から平成35年度までの各年度分の個人町民税に限り、均等割の標準税率3千円に500円加算したものとします。

## ●議第52号

山形県後期高齢者医療広域連合の規約変更について

2012年7月9日から「新しい在留管理制度」が施行されることとなったため、特別永住者には特別永住者証明書が、永住者・定住者・日本人の配偶者に当たるような外国人に対しては中長期在留者として在留カードが発行されることとなり、ともに住民票が作成されることになるため、「外国人登録」の制度は廃止となったことに伴うものです。

議第51・52号とも可決しました。



たばこは町内から買ひましよう

## みなさまからの請願と意見書

9月議会で2件の請願と1件の議員発議による意見書の提出が全会一致で採択され、関係大臣に提出しました。

### ◆請願第3号

『少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出に関する請願』

#### 《請願者》

山形県教職員組合西北村山地区支部支部長 北畠 教行

#### 《請願の趣旨》

- 1 少人数学級を推進すること。  
具体的な学級規模は、OEC D諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元すること。

### ◆請願第4号

『地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願』

#### 《請願者》

連合山形北西村山地域協議会  
議長 池田 俊郎

#### 《請願の趣旨》

- 1 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分講ずること。

また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別に計上すること。

- 2 医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、平成25年度地方財政計画を策定すること。

- 3 地方財源の充実・強化をはかるため、地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再分配機能の強化、国税5税の法定率の改善、社会保障分野の単位費用の改善、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的な対策を進めること。

#### 《発議第6号》

『地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について』

#### 《意見書の趣旨》

二酸化炭素吸収源としてもっとも重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築すること。



環境浄化にも大きく貢献する杉林



# 決算を認定

歳出総額

75億3,635万6千円

95万円 歳出 50億6,142万円)

3億8,564万円



## 主な質疑

**問** 橋梁補修工事（1千700万円）について、これからの計画と、進捗状況を伺いたい。

**答** これは、月布大橋の橋梁塗装工事費などです。

**問** 橋の長寿命化工事は用大橋から始まったばかりです。大江町には、町管理の橋が91あり、そのうち76橋の修繕計画を立てて随時行っていくつもりです。

交通安全施設



平成23年度決算については、本会議で町長の説明を受け、監査委員の決算審査報告が述べられた後、決算特別委員会に審査を付託しました。

決算特別委員会（委員長／伊藤慎一郎、副委員長／松田敏男）にて、一般会計並びに特別会計7件、及び水道事業会計について3日間（12日・13日・14日）審査を行い、議論した結果「認定すべきもの」と決しました

9月14日の本会議で23年度各会計決算を認定しました。

**問** 等設置工事費（297万9千円）の内容について、どんなことをするのか。

**答** 町道小漆川・小見線の白線塗装等です。ガードレールの補修なども行う予定です。

**問** すもも産地化推進事業費（141万5千円）の内容は。

**答** 新品種の開発や、先進地から指導者を招へいして剪定講習会等を行っている費用および、苗木代600本の補助金などです。

**問** 山菜新植等促進事業補助金（18万円）の内容は。

**答** 大江町には大変良い品種のわらびがありません。そのワラビの苗代の補助をする等、生産拡大に努めております。

# 平成23年度

## 歳入総額

(一般会計・特別会計)

# 79億2,199万7千円

## (内・一般会計 歳入 53億5,9

# 歳入総額－歳出総額＝

**問** プレミアム付き商品券発行事業補助金について、半日で完売するということは、町民全体に出回っていないのではないのか。

換金できる人は、商品券を買った時点で、品物を買わなくても2割儲かるのではないのか。その盲点をどう考えるのか。

**答** 個人の限度額や一世帯あたりの限度額を考え、町民全体に潤うように検討します。



**問** 昨年から始まったふるさと奨学基金（5千円）の内容は。

**答** 23年度は大学生15名、高校生10名で予算を組んだのですが、最終的には大学生6名、専門学生1名でした。

**問** 今年度はその倍近くになっております。

**答** 郷土芸能団人材育成事業補助金（15万2千円）の内容は。

**問** 昨年から始まった事業で、13区の奴保存会の衣装や用具の整備、御免町の囃子座保存会の衣装や用具の補助金です。

**答** 広域行政事務組合老人ホーム（明鏡荘）負

担金について、老朽化などで大変なのではないか、大江町としてこれからの考え方について、また、大江町から何名入っているのか。

**答** 運営の面、施設の老朽化の問題、利用者実態など、建設当時の社会状況と比べて、今日の状況は、かなり変化しているのではないかと考えているので、総合的に検討している。

**問** 定員100名のところ町内から入居している方は7名です。

**答** 黒森地区の水資源はどうなっているのか。以前個人が使っていた水源を利用できないか。

**問** 時折水位が低下して貫見からくみ上げております。

**答** 今年もくみ上げました。水源確保に色々検討してみたいと思います。



昭和59年に作られた黒森水源地



昭和49年8月に開設された明鏡荘



生活を守るために雪対策は重要です



土田 勳一 議員

**Q** 個人家屋の雪下ろしと除雪の助成について

**A** 「雪下ろし・玄関除雪等支援事業」について見直しも含め検討してまいります

**質問** 県は、65歳以上の1人暮らしの生活様子について意識調査を実施しております。

日常生活での困り事では、「雪下し・雪片付け」が最多で60%（女性は80%）、次に「買い物」と「通院・薬貰い」の順であります。

核家族化が進み高齢者世代が増え、家屋の雪下ろしや除雪は本当に大変です。復興作業に駆り出されるなどで除雪要員は減少しており、作業を予約してから15日位は要すると言われています。頼りの親戚等も高齢化していて、その子どもさんをお願いしてもらおうしがありません。それにしても、ただ（無料）とはいきません。国民年金だけで生活している方にとっては大変厳しいのであります。

七軒地区の雪下ろし回数は約4回。多いときは6回ほどです。高齢者にとっては大変難しく、はっきり言って無理であります。したがって、「除雪作業員確保」は、大変重要であることは間違いありません。

『大江町雪下ろし・玄関除雪等支援事業』は大変良い事業であり、対象要件については、若干の手直しが必要だと思います。具体的には、七軒地区に限り、親戚等によ

る作業についても、助成額を3分の1に抑え、回数制限を設け、助成範囲を広げるべきと思います。難題ではありますけれども、前向きに検討すべきだと思います。町長のお考えを伺います。

**町長** 「雪下ろし・玄関除雪支援事業」の支援策の助成拡大などについては、町に豪雪対策本部が設置された年に、利用回数を増やす取扱いや、個人負担を対象経費の2割から1割に軽減するなどの見直しをさせていただいております。支援を必要とする世帯が、真に他の者からの手助け、支援が得られない世帯なのかという点は重要な部分でありますので、この把握に際しては、民生児童委員協議会などの関係団体からも手助けをいただきながら、厳正に実態の把握に努めていきます。

また、様に親戚の方などからの支援を対象外とするのではなく、個々の実態により判断させていただく場合もあり得ると考えております。

平成23年度には「地域支え合い体制づくり事業」を実施し、この中で高齢者を支える除雪体制づくりの観点から、除雪機の購入整備



豪雪に備える除雪車

をしていたいただいた地区が4箇所ありました。

「雪下ろし・玄関除雪等支援事業」の運用につきましては気象状況などにも留意しながら見直しなども含め検討していきたいと思っております。

**質問** 雪が多く、雪下ろし回数も多い七軒地区と、少ない町内地区の支援事業が一律なのは問題と考える。

**町長** 個々のケースを把握し支援すべきところは支援するよう検討します。





伊藤 慎一郎 議員

**Q** レイクサイド小見の今後の管理運営について

**A** 土地改良区と管理協定の締結や話し合いをし維持管理に努めていきます



通行できない遊歩道

多いようです。

ところで、年数が経ちますと遊歩道も壊れて通行できなくなり、危険な場所も見つけられます。

この遊歩道をどのようにするか、管理者はだれなのか、もし町であるならば、事故がおきたら管理責任を問われる問題ではないかと思えます。

また、二の堤と三の堤の間にある水生植物園・湿生植物園周辺ですが人も入れない状態です。

これからどのように管理されるのか伺います。

**町長** 遊歩道の壊れた木製の手摺りや橋については腐食により危険な状況にあることから、当分の間通行止めとし、順次撤去してまいります。

管理者の明確化については、今後、改良区と話し合いのもと管理協定等を締結するとともに地元住民の協力もお願いし、良好な維持管理に努めていきます。

**Q** 外来魚(ブラックバス・ブルーギル)の撲滅について

**A** 改良区と連携を密にし協力しながら対応していきます

**質問** レイクサイド小見にある4ヶ所の他、水林の沼には、数年前からブラックバスやブルーギルが放流され、生態系が変わりました。今まで生息していた沼エビやフナや小魚がいなくなり、そして、あんなにいたウシガエルの声さえも聞こえなくなりました。今ではブラックバス、ブルーギル、そしてまた、名前も分からないカメまでがいるようです。

そのために、ブラックバス釣りに町内外から来るようになり、柵を越え沼の中まで入り、時にはボートを浮かべて、10人以上も釣り人がおりました。

春早くから、沼に氷が張るまでですが、余りにも危険なので立ち入り禁止にしたり、昨年からは釣りも禁止になりました。

かつては、水林の沼にタナゴが繁殖しておりました。まだ二枚貝であるドブ貝がありますので、ブラックバスを撲滅してタナゴが繁

殖ができる沼に戻せないかと思うのであります。

町長の考えを伺います。

**町長** ブラックバス等の駆除について、改良区と連携を密にし、協力しながら対応していきたいと考えます。

大山自然公園を核とし、四季を通して、町民や訪れる人に癒しの空間として楽しんでいただくため、関係機関、団体と積極的に話を進めていきます。



ブラックバスが放流された大堤(小見)



宇津江雅人 議員

Q

ドクターヘリの対応について

A

県等関係機関と連携を密にし最大限効果が発揮されるよう取り組みます

**質問** 県は今年度ドクターヘリの導入を決定し、平成24年11月から

県立中央病院(救命救急センター)を基地病院として就航ができるよう、着々と工事等を進めております。

ドクターヘリとは、医療機器や医療品を搭載した救急医療専用ヘリコプターに救急医療の専門医と看護師が搭乗し、一刻も早く患者に初期治療を行うため、県内全域を30分以内でカバーできるようになっております。

臨時離着陸地調査の結果、大江町については適地ランデブーポイントは17箇所、冬季分は3箇所となっております。そこで今後、町としては最終的にどこの地区にランデブーポイントを選定し追加検討をするのか、その他、整備及び管理はどうするのか、また、離着陸地点の安全管理やヘリ誘導員は誰が対処するのか、冬季対策は…といった問題点が出てくると考え

ます。

ドクターヘリの運用を成功させるため、行政としての対応について町長の所見を伺います。

**町長** 実際の運行にあたり、東部エリアでは中央公民館駐車場、西部エリアでは柳川温泉駐車場を主に使用することを想定しています。誘導及び安全確保の支援員については基本的に担当課職員を、柳



ランデブーポイント柳川温泉駐車場

川温泉駐車場については町産業振興公社に協力を求めています。

**質問** 支援員が行うヘリ誘導のためのシグナル(手先信号)はどの程度の内容か。

**町長** 県は各市町村の支援員に対し簡単なシグナルをお願いしております、専門的なシグナルまでは要求していません。

Q 婚活支援対策について

A 結婚施策への行政支援も必要不可欠なものと考えています

**質問** 子どもが少なくなるということは、このままでは地域そのものの活力が失われ、地域の崩壊にもつながりかねない重要な課題と考えます。

人口減少は全国各地に共通する課題であり、平成24年5月の新聞記事によりますと「生涯未婚男性2割突破、女性も1割」と大きな見出しで報じております。

しかし、未婚者のうち「いずれ結婚するつもり」は男女ともに9割近くを占めております。

このことは結婚したくても適当な相手にめぐり合えない、いわゆる

縁がないという意味であると考えますが、その縁になかなかめぐり合えないという独身者のために何らかの方法で手助けすることも必要ではないかと思えます。

当町におきましては商工会の中に「ハローマリッジ倶楽部」を立ち上げていますが、担当者によると、何とか行政の方からも婚活支援が欲しいとの意見があります。すべて個人の縁の問題だからと考えるのではなく、ぜひ、前向きに検討していただきたいと考えます。

町長の所見をお伺いします。

**町長** 安心して子供を産み育てることができるような少子化対策の観点からも、出会いの場の創設や結婚施策への行政支援も必要不可欠なものと考えています。

**質問** 県が応援事業としている「新たな出会い創出助成事業」については。

**町長** 関東地方や隣県から女性の参加者を募って村山地方の男性と懇親を深める「むらコン」が企画されており、本町も実行委員会の構成メンバーの一員として、西村山管内でイベントを実施すべく進めております。



# 平成24年 第3回大江町議会臨時会

平成24年8月2日、第3回大江町臨時議会を開催しました。

## 【行政報告】

### ① 柳川温泉の料金改定について

柳川温泉の宿泊料金、1泊2食付宿泊について1千円値上げしA棟は平日7千500円に、休前日8千500円に、またB棟はそれぞれ6千500円、7千500円になります。小学生料金は70%に引き上げられます。冬期間の暖房費は1部屋500円必要となります。

シニアセンター利用では、一般入浴者について一般さわやかパスポート、さわやか回数券との併用ができなくなります。

### ② 大相撲のチケット販売状況について

7月22日現在、2千176席のうち2千84席が売却済みで、95・8%の売れ行きとのことです。

### ③ 「山形県浄化槽水環境保全事業」について

県が23年度に第二次県全域生活排水処理施設整備基本構想の見直しで掲げた、平成27年度の目標数値である合併浄化槽普及率8.2%に



足場が組まれた役場庁舎耐震改修等工事中です

達する見通しが立てられないことから、浄化槽設置事業への県の嵩上げ高を復活させるものです。合併浄化槽設置者の負担はさらに軽くなります。設置者6割+国市町村4割だったものが、設置者4割+県2割（上限額）+国市町村4割となり、設置者の負担が軽減されます。

### ●議第46号

平成24年度大江町役場庁舎耐震改修等工事請負契約の締結



凍上災の被害を受けた道路（道海地区）

請負金額8千85万円

請負者 株高松木材

工事内容は、外壁の全面塗装、屋上防水の全面改修、屋上東側塔部分の解体撤去を含み、1階2階各2ヶ所、3階1ヶ所の計5ヶ所の耐震工事を行うもので、工期は平成24年12月28日完成とするものです。

### ●議第47号

平成24年度大江町一般会計補正予算（第4号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1千490万円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ47億9千430万円とするもの。

凍上災とは、異常低温による道



町道貫見、中の畑線の凍上災舗装工事

路の損壊を言います。6月28日に国の災害査定が行われ、9ヶ所総延長4千970・7mが認定されました。査定率は91・9%でした。国支出金7千328万3千円、町債3千630万円、一般財源から531万7千円を拠出します。工期は10月末に完成の予定です。

全員賛成で可決しました。



# 村山地方町村議会議長会議員研修

平成24年9月28日(金)、河北町総合交流センター『サハトベに花』にて、山辺町、中山町、西川町、大江町、朝日町、河北町、大石田町の議員及び議会事務局員が参加し、村山地方町村議会議長会議員研修が開催されました。

講師には、新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博氏を迎え、『地方自治法議会関係規定に関する動き』という演題で研修を受けました。

地方自治法はさまざまな時代背景により改定されてきましたが、主に、次の点について述べられました。

## 1 平成20年改正「議会活動の範囲の明確化」について

これまで議員活動であった各派代表者会議、広報・図書運営委員会、正副委員長会議、全員協議会は議会活動に枠組みされた。

その他、議員派遣の活動があり、一つの例として埼玉県鶴ヶ島市において、行政とは別に災害対策支援本部が設置された。



講師の田口一博氏

## 2 平成23年改正「議会制度の充実」について

議員定数等については、これまで、その上限を人口区分に応じて法定していたが、議会制度の自由度を高めるため、定数の決定は各地方公共団体の自主的な判断に委ね、上限が撤廃された。

## 3 平成24年改正「議会制度の見直し」について

委員会制度の「条例化」と公聴会・参考人制度の本会議への出頭を求めることができるとしたほか、政務調査費の名称が政務活動費に改められた。

# 総務文教常任委員会視察研修

## 『フラワー長井線の利用拡大に向けた取り組みについて』

7月31日、講師の山形鉄道㈱代表取締役社長野村浩志氏に、JR左沢線の利用拡大のヒントを学ぶため、視察研修に行きました。

遠回りではありませんが、左沢駅存続に少しでも役立つようにと、左沢から汽車を利用して山形まで行き、奥羽本線に乗り換え赤湯まで電車にゆられ、フラワー長井線の終点である赤湯から会社のある長井に行つて話を聞き、荒砥まで帰るという道程でした。

周りの住民を巻き込んだ長井線の盛り上がり、第3セクター鉄道会社の独特の経営術を、少しでもJR左沢線の利用拡大に繋げようと委員全員初めて乗車しました。

車内には会社の広告が貼られている吊り革（1年間で5千円のCM料金）や、一見、鉄道写真と見間違ふような絵画も飾っており、昔の左沢線でも運行されていた趣のある車両と相まって、乗車や撮影目的の県内外の客が多くおりました。

長井駅隣の鉄道会社で行われた

研修会では、貸切バスよりも安い貸

切列車（ビール、ワイン、いも煮列車等）事業、独自の定期券事業、土・日乗り放題切符が売れ行き好評ということでした。そして、運転手が一番お勧めのフラワー長井線写真ハガキ（景色）や、宮内の熊野大社の「三羽のうさぎ伝説」にちなんだマスケット等を社員が考え販売している商品販売事業に力を入れているそうです。

昨年は震災の風評被害と少子化の影響のため、鉄道事業本体の売り上げが8割減だったので、鉄道以外の事業に力を入れていきたいとのことでした。

また、山形的な観光、肘折的・銀山的な観光（長く使って何回も使える）を目指した方がいいというアドバイスをいただきました。JR左沢線と一体化した観光の勉強にもなりました。



商品販売事業で売られているオリジナルタオルと各種パンフレット

# 産業厚生常任委員会現地調査

平成24年7月27日に次の5ヶ所について現地調査を行いました。

## 1 大江町型住宅展示場

100%町内の西山杉と栗(土台)を使用した大江町型住宅は、木の香りと肌の温もりを感じさせ、住む人に優しい住宅でした。

各所に職人の技と知恵が生かされておられ、釘などはあまり使用されていません。

これからの住宅として発信し、宣伝に努めて欲しいものです。



杉の香り高い大江町型住宅

## 2 町道柏陵荘グラウンド線

この地区は町都市計画の第二種住居地域となっておりますが、西側地区は大雨になると土砂が流れて果樹畑に被害が重なり、地域の人には苦痛の種となっております。

住民の長年の願いがかかない、行政の先行投資型工事として着工し、平成24年8月3日の検査をもって完成しました。



広々とした町道柏陵荘グラウンド線

## 3 下北山配水池

昭和38年に設置された配水池です。

平成23年3月11日の大震災で非泥弁のボルトが切断したことにより、配水池の水が流出し空水となったのを受け、地震対策として震度6〜7にも耐えるよう、コンサルタント会社に検査業務の委託を始めました。



下北山配水池の操作弁

## 4 切留水源

昭和52年度に設置した柳川水源

の水量が不足したため、昭和58年に施行し取水することになりました。

神秘的な森の中を流れる水は冷たく透き通っており、まさしくおいしい水であると感じました。

## 5 柳川浄水場

平成11年度に設置され、最新の処理システムで月布川から揚水し、安心・安全な水を供給している様子がうかがえました。



切留水源



## 村山地方町村議会議長会行政視察研修

村山地方町村議会とは、村山地区の山辺、中山、河北、西川、朝日、大江、大石田の7町で構成する議長会です。その議長会の視察研修が7月10日～12日まで行われました。主にまちづくりの基本理念を学ぶ研修となりました。

### 「日吉津村（ひよづつむら）」

日吉津村は鳥取県西部に位置する日野川の右岸にあり、日本海に面した村です。面積4・16平方キロメートル、人口3千423人、1千75世帯で、人口も世帯数も増加しているとのこと。

平成21年4月1日より日吉津村自治基本条例が施行されました。

「村民が村づくりの主役である」との認識のもとに村民・議会・村長等の三者間の関係を定めるとともに、住民主権、人権の尊重、情報共有、参画と協議の4つの自治原則を守って村づくりを進めるものです。

平成15年11月には、米子市、淀江町との合併を問う住民投票が行われ、単独存立となったとのこと

です。住民投票制度も、基本条例34条以下に盛り込まれています。

### 「兵庫県多可町」

兵庫県中央部に位置し、平成17年11月に中町、加美町、八千代町の3町が合併して誕生した面積185・16平方キロメートル、人口2万3千人余の町です。



多可町において

戸田善規町長自ら町づくりの理念について説明してくださいました。

①住民の心の誇りを大切に

多可町は、敬老の日、杉原紙、山田錦の発祥地であること。

②「人の元氣」「地域の元氣」を作り出す。

③「住民が主役」&「安心」の町づくり。

3町を1つにまとめることがいかに大変であったか、町長の苦労が偲ばれるお話でした。

## 西村山地方議長協議会行政視察

西村山地方議長協議会（寒河江市・大江町・朝日町・河北町・西川町で構成）主催の行政視察研修を平成24年7月24～25日に行いました。視察場所は大船渡市・奥州市です。

### 「大船渡市」

大船渡市役所で市民が撮影した3月11日の大津波のビデオを見せただきました。その後、市の復興計画の説明を受けました。普通、市の予算は200億程度ですが、今年は600億、来年度はもっと増えるそうです。26日から計画の住民説明会を開くとのことでした。

その後、市役所職員の案内で津波被災跡を視察しました。

### 「奥州市」

奥州市は、水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川村の5市町村が合併し、平成18年2月20日に誕生した市です

奥州市で取り組んでいる「奥州市地域新エネルギービジョン、自然資源とエネルギーの地産地活」

の説明を受けました。

地域の特性にあった総合的な新エネルギーの導入と循環型社会の構築により、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の排出量を削減するとともに、地域産業の活性化を目指すものです。

そのうち、米エタノール化プロジェクトの実験装置を見学しました。

2市とも、それぞれの課題に向けて真剣に取り組む市職員の姿勢に感動した2日間でした。



奥州市において



## 議会傍聴の感想

大場 浩一（月が丘）



数年前より時々、定例会及び臨時会を傍聴させていただきました。

一般質問は毎回3人位ですが、当選回数が多くなるので、あまりしなくなる傾向なのでしょうか、毎回、同じ議員が質問に立っているように思われます。

飲酒運転疑惑の町議の辞職勧告決議案の時は、傍聴人が多くて議場に入れませんでした。

別室の会議室でモニターを視聴しました。

記者から感想を聞かれテレビ撮影されましたが、放

送はされませんでした。

さらに次の議会では、議長がコチヨウランを数人の議員に贈った問題で辞職勧告が出されましたが賛成4、反対6で否決されました。

これかもし5対5の場合、どうなっていたか考えさせられます。

山形県知事を2人も出した町民としては恥ずかしい気持ちです。

今はインターネットで配信されるので、大江町の議会は何をしているのかと他市町村の人から聞かれます。

どこかの町長が「うなぎ」を贈った問題でリコール請求したように、大江町においてもリコール請求しないと立ち直らないのかなあと、思う今日この頃です。

## 私も一言

### 「感謝の心」

竹内 千柯子（田ノ沢）



人生60年にして、突然田舎暮らしをしたくなり、田ノ沢に娘と2人で移住してまいりましたのが、平成6年11月28日のことでした。

その夜は、大雪に歓迎され驚かされました。

家の中の生活は質素節約がモットーでしたので、充実して心が洗われる思いでした。

田ノ沢の方々も突然のことで驚かされたでしょう。でも、とても温かい心で見守ってくださったのです。

大自然のおおらかさの反面、雪の厳しさ、辛さもあ

りますが、それを体験させていただいた私は、かえって新鮮な思いでした。

車も通らず奥深い山の中の生活は、自分の心を見つめ直す尊い空間だと実感しております。

そこで、80年近く地球にお世話になっており、少しでも恩返ししたく、現在、水を綺麗にする石鹼生活を皆様にお薦めしております。

役場の方々のご理解もあり、各イベントに参加させていただいております。

皆様の温かい心に感謝しますと共に大江町に感謝し、発展を祈りながら今後も生活してまいりたいと思っております。本当にありがとうございます。

# 広報常任委員会研修会

さらなる「議会だより」の充実に向け、7月17日、西川町役場において、西川町議会広報公聴常任委員会委員とともに議会だよりの編集等について研修を行いました。

西川町の「議会だより」は、外部講師から制作のアドバイスをいただいたで見やすく読みやすい広報誌を作成しているほか、「議会だより」に関心を持っていただきたくために愛称を募集しました。多くの町民の方々に読んでいただき、さらに、読みやすい紙面づくりの参



西川町役場で行われた研修会



外部講師からのアドバイスで読みやすい「西川町議会だより」

い誌面にするために、文章の推敲と校正をしていた。文章アドバイザー」等を平成24年度に新たに導入するそうです。その他さまざまな議会活動を分かりやすく読みやすく伝えるため誌面を増やし、一般質問の詳細は、インターネットの他に、図書館で会議録やDVDを見ることができるよう改善していくとのことでした。

西川町議会広報公聴常任委員会のさまざまな取り組みについて説明を受け、「先進地に学ぶ」、「良きことは取り入れる」の精神で、お互い真剣に研修し、西村山郡における広域的な繋がりを期待させる研修となりました。

## 議会の動き (平成24年7月～9月)

28日	21日	20日	14日	9月	30日	22日	2日	8月	30日	27日	24日	17日	10日	3日	2日	7月	
村山地方議長会議員合同研修会(河北町)	広報常任委員会	総務文教常任委員会協議会、 広報常任委員会	産業厚生常任委員会協議会、 広報常任委員会	第3回定例会(14日)	議会運営委員会	議長・局長中央研修会(東京)	臨時会	8月	総務文教常任委員会協議会 (長井市)	県町村議会議長会研修 (山形市)	西村山地方議長協議会 行政視察(岩手県) 25日	大江・西川町議会広報常任 委員会委員研修(西川町)	正副議長行政視察 (鳥取県日吉津村、兵庫県 多可町) 12日	村山地方町村議会議長会	広報常任委員会	山形県森林林業産業活性化 促進議員連盟連絡協議会 (山形市)	7月

## 編集後記

今年(平成24年)は気温が30度を超えた日が9月18日まで続きました。「つや姫」は暑さに強いことをまた実証したことが新聞記事に書いてありました。そして台風17号。大江町は幸い被害がほとんどなかったようです。

今議会の様子はインターネットでリアルタイムに放映されています。「議会だより」の存在意義はどこにあるのか、ふと考えたくなります。ただ、放映は議会活動の一部だけであり、放映されない部分も重要です。このたび町村議会議長会の視察研修の記事を掲載しましたので、ぜひお読みくださるようお願いいたします。

これからも、「議会だより」を毎年同じではなく、少しずつ変えていかなければならないと思っています。(安彦 勉)

### 【発行責任者】

- ◆ 議長 小野 祐一
- ◆ 委員長 伊藤慎一郎
- ◆ 副委員長 安彦 勉
- ◆ 委員 宇津江雅人
- ◆ 委員 安食 幸治

### 【大江町議会広報常任委員会】